

秋田市移住ガイドブック
ちょうどいいから、住みやすい。

新しい毎日を。

心地いい人との距離感で、

街の便利さと、豊かな自然、



都市機能と大自然の“いいとこどり” 若者もシニアも安心して暮らせるまち

都会の利便性と、森の静寂が車でわずか20分の距離にあるまち『秋田市』
飛行機を使えば、首都圏まで約1時間とアクセスも抜群

子育て・教育環境も充実し、子どもの学力は全国トップクラス
リモートワーク移住も増え、新しい仲間に出会えるコミュニティが拡大しています。

挑戦の息吹が溢れるこのまちで“自分らしい物語”を紡いでみませんか。

移住専用ポータルサイト

秋田市への移住を希望する方向けのホームページ。地域おこし協力隊が自身の移住体験をもとに、移住前に必要な情報や、秋田市で生活してみて感じた魅力を、分かりやすくユーモアを交えながら発信しています。秋田市での生活をお考えの方、是非お役立てください。

移住体験をもとにしたコンテンツ

- ◎移住までの流れ
- ◎補助金などの手続き
- ◎企業紹介
- ◎移住後のライフスタイルの変化など



CONTENTS

- P.03 秋田市ってどんなまち？
- P.05 移住までの流れフローチャート
- P.07 秋田市移住相談センター
- P.09 先輩移住者の新しい暮らし
- P.17 のびのび、子育て事情
- P.21 秋田市で見つける、新しい活躍のカタチ
- P.23 テレワーク 場所を選ばない働き方
- P.25 まずは「ざっくり」秋田市をご紹介！
秋田市の7地域
- P.29 覗いて見よう！リアルな秋田の暮らし
移住相談ツアー／移住体験住宅
- P.31 移住に関する支援一覧
仕事／住まい／移住補助金
- P.33 安心して暮らせるまち、秋田市
移住者交流会／安心！医療施設



秋田市ってどんなまち？

街も、自然も、すぐそこに。

内外へのアクセス拠点として機能する都市でありながら、
エリアごとに異なる表情を持つ秋田市。

利便性を重視する暮らしも、自然に抱かれる暮らしも、
ここではすべてが地続きです。

外の世界へつながる軽快さと、

日々の生活を豊かに彩るローカルな魅力がここにあります。

四季の移ろいを感じるまち

春



桜が咲き誇り、街が華やぐ春。桜の名所「千秋公園」は、
多くの花見客でにぎわいます。

夏



秋田の夏を彩る伝統の灯り。「秋田竿燈まつり」が夜空を
照らし、人々を魅了します。

秋



黄金色の田園風景が広がる実りの秋。稲穂の海を駆け
抜ける「秋田新幹線こまち」は圧巻です。

冬



降り積もる雪が織りなす白銀の世界。
冬の秋田は、寒さの中に人々の温かさが感じられます。



秋田市の7つの地域は →P25-28

アクセス

飛行機

東京 (羽田空港)	約1時間5分	秋田
札幌 (新千歳空港)	約1時間10分	
名古屋 (中部国際空港)	約1時間25分	
大阪 (伊丹空港)	約1時間30分	

JR線

東京	最速3時間37分	秋田
仙台	約2時間30分	
新潟	約3時間40分	

(秋田新幹線「こまち」)
(秋田新幹線「こまち」)
(特急いなほ号)

高速道路

東京 (川口JCT)	約8時間50分	秋田
仙台 (仙台宮城IC)	約3時間35分	

(秋田中央IC)
(秋田中央IC)

高速バス

東京 (新宿)	約8時間30分	秋田
横浜 (横浜駅YCAT)	約9時間40分	
仙台 (仙台駅前)	約3時間50分	

(秋田駅東口)
(秋田駅東口)
(秋田駅東口)



STEP

秋田市暮らし はじめの一歩

秋田市に移住し、日々を豊かに暮らすためのステップ。生活を営む地域や、仕事、このさきの人生と暮らしについて、移住を希望される方を全力でサポートします。



いよいよ移住!

いよいよ、新しい環境での毎日が始まりますね。地域のイベントに顔を出してみたり、お隣さんと挨拶を交わしたり。そんな小さな積み重ねが、いつの間にか新しい場所を『心地よい我が家』に変えてくれるはずですよ。

→P33-34 移住者交流会

STEP

1 移住の目的を 考えよう



せっかくの新しい生活を心から楽しむためには、『これだけは譲れない!』という目的をイメージしておくのがコツです。たとえば『家庭菜園を楽しみたい』『本格的に農業に挑戦したい』『海の近くに住みたい』といった具体的な目的があると、自分にぴったりの答えが見つかりやすくなります。

STEP

6 住まいを決めよう



広々とした一戸建て、融雪機能があるアパートなど、さまざま。住宅購入やリフォームに対する支援や「空き家バンク」もあります。

→P31 住まいに関する相談窓口

移住を叶えるための10のチェックリスト

- 「なぜ移住するのか」目的をハッキリする
- 家族全員の気持ちをひとつにする
- 移住後の「仕事」と「収入」をイメージする
- ゆとりのある資金計画を立てる
- 憧れの場所へ実際に足を運んでみる
- 厳しい季節(冬など)の様子を知っておく
- 日常の「生活動線」を確認する
- 地域の「ルール」や「行事」をのぞいてみる
- 「お試し移住」でリアルな日常を体験する
- 困ったときの「相談窓口」を見つけておく



STEP

2 家族・パートナーに相談しよう

移住はご家族にとっても大きな変化ですよね。ひとりで抱え込まず、まずは『こんな暮らしがしたい』という“思い”をオープンに話してみませんか？お互いの希望をあらかじめ共有しておくことが、ご家族みんなで新しい生活を楽しむための重要な鍵になります。



STEP

5 仕事を探そう

秋田市には、就職・起業・就農などあなたにあったさまざまな選択肢があります。そのための支援プログラムもご用意しています。

→P31 仕事に関する相談窓口



STEP

3 窓口相談しよう

東京都内にある「秋田市移住相談センター」では、経験豊富な相談員が“秋田市暮らし”のご相談に対応しています。首都圏にお住まいの方は、まずは『ちょっとお話ししてみる』くらいの気軽な気持ちで、足をお運びください。

→P7-8 秋田市移住相談センター



STEP

4 現地まで行って実際に見てみよう

『ここかな？』と思う地域をみつけたら、まずは秋田市を訪れてみましょう。移住体験施設や移住相談ツアーなどを利用して、「秋田市暮らし」を体験することをおすすめします。実際に歩き、人と触れ合うことで、これからの暮らしがより具体的で楽しみなものに変わっていくはずですよ。

→P29-30 移住相談ツアー・体験住宅



2日に1人が移住者になる相談所

秋田市移住相談センター

相談対応の経験豊富な3名の専門相談員が、「住まい」や「就業」など、移住に関わるご相談に対応しているほか、無料職業紹介所として、紹介状の発行や秋田市内の企業とのマッチングをサポートします。

また、就職活動に必要な履歴書や、職務経歴書などの応募書類のアドバイスも行っています。

私たちがお待ちしております！



NAME なす

FROM 秋田市

秋田市で育ち、結婚後は、千葉県に在住。6歳の男の子を育てる現役ママです。秋田の子育て支援や暮らし方、交通の便、スーパーの情報など、実際に秋田に住んでいたからこそ分かるリアルな情報をアドバイスします！子育て世代の方はぜひご相談ください。



NAME くまがい

FROM 秋田市

秋田市で育ち、大学を卒業後、札幌市内の企業に就職。現在は、神奈川県に在住。私も移住を経験しているので、不安な気持ちがよく分かります。前職は映像制作。「秋田に住んだらどんな楽しいことが待っているのかな？」—皆さんが気になる<秋田の今>をリアルに発信していきます！



NAME もとう

FROM 石川県

石川県川北町で育ち、大学進学を機に京都市へ。大学卒業後は、都内の企業に就職。現在は、都内に在住。キャリアコンサルタントの資格を活かし、一人ひとりに合った求人を見つけるお手伝いをいたします！求人の見極め方や自己アピールの方法ならお任せください。移住実現のためには、仕事を見つけることが最優先。全力でサポートいたします。

私たちができること

暮らし のサポート

住まいや環境、日々の暮らしに関する疑問にお答えします。

移住相談ツアー&移住体験住宅

宿泊費、交通費助成ありのオーダーメイドのツアーをご案内。



仕事 のサポート

求人情報の提供はもちろん、履歴書や職務経歴書の添削、面接対策もサポート。

秋田市移住定住無料職業紹介所を併設

専門相談員が皆さんと一緒に秋田市の求人情報を検索、紹介状を発行しマッチングを支援しています。



移住 補助金 のサポート

移住に役立つ補助制度の詳細や申請方法をご案内。

新しい暮らしのスタートを サポートする補助金・助成金

様々な補助金・助成金の中から◎東京圏からの移住◎子育て世帯の移住◎若者の移住◎企業採用面接の交通費など対象となる制度をご案内します！



まずは「秋田市移住相談登録」にご登録いただくことから移住相談がスタートします！

オンライン相談
にも対応！



※2026年度中に、秋田市移住相談センターと秋田市移住相談八重洲センターは統合し、所在地が変更となる予定です。所在地については、右記QRコードからご確認ください。

→P31「企業採用面接交通費等の助成」の窓口

秋田市移住相談八重洲センター※

●相談時間:9:00~17:00(月~金)

※平日の時間外、土曜日は要相談

☎0120-99-1101



ホームページ



X



note八重洲マガジン

秋田市移住相談センター※

●相談時間 9:00~17:00 ㊟土曜・日曜・祝日・年末年始

☎03-3234-6871 FAX.03-3234-6873

✉ro-pltk@city.akita.lg.jp



→P32 補助金申請書類の提出窓口

秋田市企画政策部選ばれるまち戦略課

●秋田市山王 1-1-1 秋田市役所 4階 FAX.018-888-5488 ●相談時間 8:30~17:15

㊟土曜・日曜・祝日・年末年始

☎018-888-5487 ✉ro-plpo@city.akita.lg.jp



海、山、動物園まで車で10分。
一度離れたからこそ分かる、
自然のありがたさ。



秋葉 真理さん
慶次くん・梗希くん

Profile

- 埼玉県から移住
- 38歳
- 秋田県羽後町出身 ■ 会社員

秋田市暮らしの、
はじめかた。

※秋葉さん家族の場合

STEP
1

離婚をきっかけに移住を決意。
まずは移住相談センターに行きました。

自分がどのような支援を受けられるのか知るために、東京八重洲の移住相談センターに足を運びました。

STEP
2

仕事や住居はインターネットを使って
自分で探し、申し込みました。

移住相談センターで教えてもらった支援にどんどん申請していき、仕事や住居はインターネットを使って自分で探しました。

支援の手厚さに惹かれて秋田市へ

2年前の夏、離婚を機に埼玉県から秋田市へ移住しました。次に住む場所を探す中で、秋田市の移住者支援が手厚いことを知ったのがきっかけです。地元は羽後町。秋田市なら実家にも帰れる距離で、兄弟や友人もいる。シングルマザーとして、安心して子育てができる場所だと感じました。

移住にあたり、秋田市役所へ連絡をしたところ、東京・八重洲にある移住相談センターを紹介していただき、足を運びました。担当の方がとても親切で、期限の迫った手当の申請など、こちらが聞く前に「これ申し込んだ方がいいですよ」「次はこれをやっておいてね」と先回りしてサポートしてくれました。一人で抱え込まずに済んだことが、本当にありがたかったです。

移住支援では引越し費用や家具の購入費用も補助していただきました。先の見えない不安の中でのスタートでしたが、経済的な後ろ盾があることで、落ち着いて新生活を始めることができました。

仕事は支援を受ける前に決める必要があったため、秋田市在住の弟の家に1週間お世話になりながら仕事を探し、今はとても良い環境で働いています。



「ちょっとそこまで」の距離に自然が溢れている。子育てに最高の場所。

秋田市での暮らしは、一言で言うなら「最高」です。大森山動物園も海も山も、気軽にふらっと行ける距離にあります。埼玉にいた頃は、動物園に行くとなると車で1時間、着けば大混雑で親子ともにぐったり。でも秋田では、散歩感覚で出かけられます。生き物好きの子どもたちは、夏は海でカニを捕まえ、御所野の公園でテントを張って1日中自然の中で遊んでいますよ。

長男はスノボが好きで、次男は動物園が気に入ったみたい。私自身は温泉好きで、温泉パスポートの発売を心待ちにして購入するほど。水沢温泉がお気に入り、家族みんなで楽しんでいます。

一度秋田を離れたからこそ、自然がいつでも手の届くところにある豊かさが身に沁みてわかります。雪への不安もありましたが、地元の羽後町に比べたら秋田市内は思ったほどでもなく、むしろ埼玉時代より暮らしが充実しています。仙台の友人が遊びに来て「秋田って本当に良いところだね」と言ってくれた時は、とても嬉しく、誇らしかったです。

移住を迷っている方がいるなら、まずは秋田に来てみてください！秋田の空気を肌で感じ、風景を自分の目で見れば、きっと何かが伝わるはずですよ。

秋田市暮らし、本音のところ。

よかったところ

子どもの遊び場がたくさん！
子育てに最高の場所

秋田市内にいても車があれば海や山にすぐに行くことができ、遊具や虫取りができる公園もあります。親子共々ストレスフリーで子育てができる環境です。

苦労したところ

いって言うなら…
暖房費？

苦労したことは、本当にあまりないんです。いって言うなら、暖房費が上がるくらいでしょうか。でもうちは都市ガスなので経済的で、痛手とまではいきません(笑)

先輩移住者の
新しい暮らし

初めての秋田市暮らしは仕事も遊びも大忙し。
「ずっとここに住みたい！」



秋田市暮らしの、
はじめかた。

井手内さんの場合

STEP
1

秋田のチームとの契約を機に、秋田市の相談窓口につながりました。

新しく秋田のチームとの契約を結び、引越しが決まったので、まずは、秋田市の相談窓口につながりました。

STEP
2

移住相談センターに足を運んだり、移住者のイベントに参加しました。

JR東京駅近くにある移住相談八重洲センターに行き、移住補助金の申請について教えてもらいました。また、移住者イベントにも参加して実際に移住者の方のお話を聞くこともできました。

井手内 晴さん

Profile

- 千葉県から移住
- 30歳
- 東京都出身
- アランマーレ秋田所属スポーツトレーナー、鍼灸師

旅行で訪れた時に感じた、 のどかであたたかい魅力が決め手に

スポーツトレーナーとして千葉県のラグビーチームで働いていた私は、契約満了を機に次のステージを探していました。いくつかの候補がある中で、秋田を選んだのには、忘れられない体験があります。

以前、オーストラリアに留学していた際、一番仲良くなったのが大潟村出身の女の子。移住の話が持ち上がるずっと前に、彼女を訪ねて秋田へ旅行したことがありました。軽トラで迎えに来てくれた友人と、果てしなく続く農道を夏の風に吹かれながらゆっくり走ったあの瞬間。関東で生まれ育った私の心を、スーッと洗い流してくれるようでした。食べものも驚くほど美味しく、あっという間に秋田の^{どろこ}虜に。だから、アランマーレが新しいトレーナーを探しているという話を耳にした時、「秋田で暮らせたら最高!」と思ったのです。

移住を決めてからは、ただ引っ越すだけでなく秋田と深くつながりを持ちたいと思い、自ら秋田市の担当課などに連絡を取りました。関東に住んでいながら移住者の体験談を聞けるイベントがあったり、会員登録をすれば役立つ情報が次々と届くのでありがたかったです。些細な質問にも丁寧に答えてもらえ、準備段階からすでに秋田の人たちの温かさをしっかりと感じていました。



海も山もイベントも… 行きたいところばかりで毎週末大忙し!

秋田に来てから1年、移住者の中でもトップクラスに入るくらい、たくさんの場所へ行った自信があります(笑)。竿燈、大曲の花火、田沢湖スキー場、乳頭温泉、湯瀬温泉…一人キャンプを覚え、花輪線に乗ってのんびり電車旅も満喫しました。きりたんぼと比内地鶏の美味しさには本当に感動して、思わず離れて暮らす家族にすぐ送ったほどです。

秋田は毎週末、県内のどこかでイベントが開かれています。規模は小さくても地元の方が一生懸命盛り上げるマルシェや、若い人たちが秋田の未来を楽しく切り拓こうとするイベント…おかげで毎週スケジュールがいっぱいで、嬉しい忙しさです。

苦勞したことは、正直それほどありません。雪国暮らしは初めてで覚悟してきましたが、今年の冬は周りの方々のサポートもあり、雪かきに手を焼くこともなく乗り越えられました。雪道で車線が見えなくなるのは、少しドキッとしますね。

人とつながるのが好きな方にとって、秋田は最高の場所です!自分から動けば、どんどんご縁が広がります。雨曇りが多い分、晴れた日のテンションは格別。海も山もすぐそこにあって、美味しいものもたくさん。秋田に来られて、本当にラッキーだと思っています。

秋田市暮らし、本音のところ。

よかったところ

自然が豊かで
イベントもたくさん!

海や山が近く、地域のイベントも意外と多いです。レトロな電車に乗ったり、ご当地のグルメ巡りをするのも楽しい。次はどこに行こうかな?とワクワクさせてくれる場所です。

苦勞したところ

雪道運転は、
まだ少し怖い…!

人生で初めての雪国暮らし。雪道の運転には慣れるまでもう少し時間がかかりそう。雪が積もって車線が見えなくなるのが怖いですね。

初めてのふたり暮らしは、
出会った土地で。一緒に巡る
「秋田探し」が今の楽しみ。



伊東 拓海さん
茂原 瑠美さん

Profile

(拓海さん)

■東京都から移住 ■東京都出身
■25歳 ■会社員

(瑠美さん)

■茨城県から移住 ■茨城県出身
■25歳 ■会社員

秋田市暮らしの、
はじめかた。

※瑠美さんの場合

STEP
1

まずはプロに相談。助成金やサポートの
詳細を伺いました。

秋田市の移住支援の窓口にはまず連絡しました。
メールを登録すると、移住関連のいろんな情報を
受け取れるように。

STEP
2

関東圏で開催される移住者イベントに参
加しました。

連絡を受けて、移住者の話が聞けたり秋田の企業が
集まるイベントに参加しました。自分でもインター
ネットを活用して情報を積極的に集めました。

大学時代を過ごした大好きな秋田で、一緒に暮らす夢を叶えた。

瑠美さんは茨城県出身、拓海さんは東京都出身。二人は秋田県立大学の同期で、卒業後約2年の遠距離恋愛を経て、秋田での同棲生活を始めました。

(拓海さん) 「私たちは大学4年の時に交際を始めました。卒業後、私は大学院に残って彼女は地元の茨城に就職。2年半ほど遠距離恋愛を続けていたのですが、そろそろ一緒に暮らしたいね、という自然な流れの中で、私の仕事の関係もあり『秋田に来ない?』と誘ったんです。」

(瑠美さん) 彼と一緒に暮らせることも、大好きな秋田でまた暮らせるのも嬉しかったですね。移住することを決めてからは、まず秋田市の移住支援の窓口で連絡を取りました。最初は助成金の手続きについて知りたくて行ったのですが、メール登録をすると移住支援のいろんな情報を受け取れるように。ある時移住イベントの案内が届き、行ってみたんです。イベントには秋田の企業がたくさん来ていて、直接お話を聞くことができるブースが充実していました。遠方においてもインターネットで求人は見れますが、企業の雰囲気を知るのには難しく…対面で説明していただけるのがありがたかったですね。移住するとなると、まず仕事を見つけるのが大変だと思うので、とても良い機会でした。」



知らなかった秋田を二人で一緒に発見していくのが、今は楽しい。

(拓海さん) 「秋田の好きなところは、自然が豊かだけど害虫が少ないところ(笑)。本当に暮らしやすいです。あとは、ラーメンが美味しい(笑)! 週末は瑠美と一緒にラーメン店を巡るのが楽しみになっています」。

(瑠美さん) 「私は秋田に来て、人のあたたかさを実感しています。例えば、朝ゴミ捨てをする時や道ですれ違う時、『おはようございます』って気さくに挨拶してくれるのが嬉しいですね。私の地元ではあまりない光景なので最初はびっくりしましたが、でもその一言であたたかい土地だなんて、自然と感じられるんです」。

(拓海さん) 「秋田市暮らしで大変なことは、やはり雪ですね。私の職場では雪が積もると社員総出で早朝から雪かきをすることもあって、ちょっと疲れたりします(笑)」

(瑠美さん) 「大学時代は車を持っていなかったのですが、今の不安は雪道の運転ですね。車線が見えなくなったりスリップするのが怖いです。でも、車でいろんなところに行けるのはすごく楽しくて。学生の頃は行動範囲が大学周辺に限られていたので、秋田のことまだ全然知らないんです。これからは、彼と一緒に新しい秋田をどんどん発見していきます!」

秋田市暮らし、本音のところ。

よかったところ

豊富な自然とグルメ、
人のあたたかさ!

(拓海) 自然が豊富で落ち着くし、食べものが美味しい!

(瑠美) 知らない人も優しく接してくれるので、居心地が良いですね。

苦労したところ

勤務前の雪かきは、
少し大変。

(拓海) 雪が積もるとみんなで会社の雪かきをするんですが、ちょっと大変。体力勝負ですね(笑)

(瑠美) 雪道運転が不安です…。

先輩移住者の
新しい暮らし

喧騒から離れたら仕事も暮らしも質がアップ！
フルリモートが移住の決め手。



秋田市暮らしの、
はじめかた。

柴田さんの場合

STEP
1

二拠点生活を見据えて、
まずは基盤作り。

将来的に秋田に拠点を置きながらフルリモートワークで東京の仕事ができるよう、スキルを身につけ、会社との信頼関係を築きました。

STEP
2

秋田市と秋田県の移住サポートを申請。

会社から二拠点の許可が出てから、秋田市と秋田県の移住支援に申請。移住するための諸費用と、仕事環境を整える費用のサポートを受けることができました。

柴田 好紀さん

Profile

- 埼玉県から移住
- 34歳
- 秋田県由利本荘市矢島町出身
- 会社員

意外と都市機能が充実している 秋田市。程よく暮らしやすい。

フルリモートでの勤務が可能になったとき、「東京にいらなくても仕事ができるなら、地方で暮らしてみたい」と思いました。もともと人混みが苦手で、ゆったりとした環境への憧れがあったのです。

移住先の候補には仙台や新潟なども挙がりましたが、最終的に選んだのはふるさと・秋田。私の出身は由利本荘市の矢島町で、秋田市に住んだことはなかったため、まず移住体験制度を活用しました。交通の便やスーパー・商業施設の充実度を実際に確認し、「これなら暮らしていける」と手応えを感じて決断しました。

支援制度はしっかり活用しました。助成金があることは移住前からなんとなく知っていたので、移住が可能になった時点ですぐに窓口へ。移住支援金に加え、県からはリモートワーク環境を整えるための費用も補助してもらいました。自由に使える資金があることで、新生活の立ち上がりがとても楽になりましたね。

現在は隔月に1回、1週間ほど東京に戻る以外は、秋田市の自宅でリモートワークで働いています。



カフェや図書館で ゆったりと過ごせる日々。 人生に余裕が生まれました。

秋田市暮らしで気に入っているのは、なんといっても人混みのなさ。気持ちに余裕が生まれます。お気に入りの場所は県立図書館で、静かでゆったりとした空間にいただけで気持ちが落ち着きます。カフェ巡りも楽しみのひとつで、個人経営のこじんまりしたカフェでのんびり過ごす時間が心地よいですね。東京にいた頃は大手チェーンにしか行かなかったので、こういうお店の良さに気づけたのも秋田のおかげです。

大変なことといえば、やはり冬の寒さと雪ですね。ただ、出身地の由利本荘市矢島町と比べると秋田市内は積雪が少なく、風が強い日もあるものの毎日ではないので、思ったより乗り越えられています。

これからの楽しみは、音楽仲間を作ること。趣味でベースを弾いていて、秋田市内で一緒に音楽を楽しむ仲間ができたかと思っています。地元の友人が遊びに来てくれることもあります。新しい出会いも大切にしていきたいです！

秋田市暮らし、本音のところ。

よかったところ

ゆったりと過ごせるけど
利便性も十分

都会の人混みが苦手なので、秋田市の人口密度が心地よいです。私は秋田市の中心部に住んでいるので、利便性も程よく整っているなと感じています。

苦労したところ

秋田市の冬は
風が強い！

地元は矢島町なので、雪の多さには慣れていました。…ですが、秋田市は海沿いなので風が強いですね。毎日ではないので、今のところは大丈夫です！



妊娠が わかったら

切れ目のない支援で
子育てを見守ります



秋田市版ネウボラ

秋田市版ネウボラ(子ども健康課内)では、妊娠届出の際に、母子保健コーディネーター(助産師)等が各種サービスの紹介や心配事の相談に応じています。

子ども家庭センター 子ども健康課

◆ 秋田市八橋南1-8-3 秋田市保健所 ☎018-883-1175
🕒 平日 8:30~17:00 📅 土・日曜、祝日、年末年始



子育てのことなら「秋田市子育て情報誌」

引っ越したばかりの子育ては不安。でも、このガイドがあれば安心。子育てに関する相談窓口やお出かけスポットなどを掲載しているので、お役立てください。



秋田市子育て情報



【公式Instagram】
@akita__kosodate



【LINE ID】
@akita_city



小児救急外来

子どもの急な病気やケガに対応！小児科医が常駐して対応しています。

市立秋田総合病院

◆ 秋田市川元松丘町4-30 ☎0570-01-4171
● 診察時間 平日24時間(一般外来 8:30~17:00)
土・日曜・祝日 9:30~22:30(左記診察時間以外は救急外来当番医が担当)

赤ちゃんが 産まれたら

毎日の子育てがもっと楽しく

新しい命を迎え、毎日を懸命に歩むお母さん、お父さんへ。心がふっと軽くなるような、秋田市ならではのサポートをご紹介します。ひとりで抱え込まず、一緒に、ゆったり、歩んでいきましょう。



こんにちは赤ちゃん訪問・産後ケア事業

「こんにちは赤ちゃん訪問」では、生後4か月(3か月末)までの赤ちゃんのいるすべての家庭に訪問し、助産師または保健師が、無料でお母さんのからだや育児のご相談に応じます。

ご出産されたお母さんが、安心して子育てができるよう、産後のお母さんと赤ちゃんがケアを受けられる「産後ケア事業」を行っています。秋田市に住民票のある出産後1年以内のお母さんと赤ちゃんが対象です。

子ども家庭センター 子ども健康課

☎ 秋田市八橋南1-8-3 秋田市保健所 ☎ 018-883-1175 ● 平日 8:30~17:00 ☎ 土・日曜、祝日、年末年始



子どもを遊ばせながら育児相談

子育て交流室 (子育て相談支援課 子育て支援担当) 秋田拠点センターALVE5階

保護者の見守りのもと、赤ちゃんから就学前のお子さんが無料で遊べる施設です。親子で楽しめる様々なイベントを開催しています。



■子育てサービスのご相談は子育てナビゲーターへ

子育てナビゲーターが子育て家庭のニーズに合わせて、教育保育施設や地域の子育て支援事業、行政サービスなどの情報提供、手続きのサポート等を行います。

☎ 018-887-5340 ● 相談時間/9:00~17:00

☎ 土、日、祝日、12/29~1/3

■仕事などの用事でお子さんを預かってほしいときに

お子さんを預かってほしいかた(利用会員)と預かってくれるかた(協力会員)からなるファミリー・サポート・センターを運営し、安心して子育てができるよう支援しています。

利用には、講習会の受講と会員登録が必要です。

☎ 018-887-5336 ● 9:00~17:15

☎ 日、祝日、12/29~1/3

子ども家庭センター 子育て相談支援課 子育て支援担当

☎ 秋田市東通仲町4-1 秋田拠点センターALVE5階

☎ 018-887-5340 ● 9:00~17:45 ☎ 12/29~1/3

☎ 施設使用料/無料

ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。それぞれ専門の相談員があなたのご相談に応じます。

● 相談時間/9:00~17:00

※ヤングケアラー相談は平日のみ ☎ 日、12/29~1/3

子ども家庭相談

子どもの育て方やしつけ、虐待に関することなど

☎ 018-827-6017(平日)/☎ 018-887-5339(土曜・祝日)

女性の悩み相談

生き方や人間関係、夫婦関係、DVなど

☎ 018-827-6348(平日)/☎ 018-887-5698(土曜・祝日)

家庭教育相談(ぐりーん・えこー)

不登園、不登校、友だち関係、いじめなど

☎ 018-827-6413(平日)/☎ 018-887-5337(土曜・祝日)

ヤングケアラー相談

大人の代わりに家事や家族の世話を日常的に行っている18歳未満の子どもについて相談に応じます。

☎ 018-827-6037(平日のみ)

子ども家庭センター 子育て相談支援課 相談担当

☎ 秋田市八橋南一丁目8-3 ☎ 018-827-6017

● 8:30~17:15 ☎ 土、日、祝日、12/29~1/3



少し大きく
なったら

保育所・幼稚園も

安心のサポート

共働き夫婦が安心して仕事ができるようにと秋田市は待機児童「0」に取り組み、年度当初の調査で12年連続達成しています。仕事と育児を両立するためのサポートも行っています。



子育てサービスも充実

未就学児童への助成 | 所得等に応じて保育料の助成を行っています。

すこやか子育て支援事業

保育所(園)・認定こども園・幼稚園等に通園する子どもの保育料および副食費が一部助成・免除されます。※所得に応じて助成割合が異なります。

保育料無償化事業

平成30年4月2日以降に生まれた第1子および、平成28年4月2日以降に生まれた第2子以降の保育料を全額助成します。
※所得制限あり。

問い合わせ | 子ども未来部子ども育成課 ☎018-888-5692



市内7か所

身近な場所で親子交流 子育て交流ひろば

市内7か所にある市民サービスセンターには、未就学児童と保護者のための「子育て交流ひろば」があります。子どもを遊ばせたり、情報交換ができたりのほか、育児に関する相談にも応じています。

■育児講座

本の読み聞かせなど、楽しい講座を開催。ママ友達をつくる機会としての参加もOK!



中央市民サービスセンター(センタース)

☉ 秋田市山王1-1-1 秋田市役所2階 ☎018-888-5652

東部市民サービスセンター(いーぱる)

☉ 秋田市広面字釣瓶町13-3 ☎018-853-1082

西部市民サービスセンター(WESTER)

☉ 秋田市新屋扇町13-34 ☎018-826-9007

南部市民サービスセンター(なんびあ)

☉ 秋田市御野場1-5-1 ☎018-838-1216

北部市民サービスセンター(KITASKA)

☉ 秋田市土崎港西5-3-1 ☎018-893-5985

河辺市民サービスセンター(カワベリア)

☉ 秋田市河辺和田字北条ヶ崎38-2 ☎018-882-5146

雄和市民サービスセンター(ユービス)

☉ 秋田市雄和妙法字上大部48-1 ☎018-886-5530

気になる 教育環境



全国トップクラスの学力

子どもの「もっと学びたい」を大切に授業を展開している秋田市。その学力は、全国でも高い水準にあり、保護者からも注目を集めています。

全国トップクラスの学力を支える 学ぶ意欲をはぐくむ授業

文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査で、秋田県は全国でも良好な成績を維持しています(現行の方法で実施された2007年度以降)。学びの基本は、多様性や自主性、生きるうえで必要な学びを大切にする学校の授業と、家庭学習にあります。秋田公立美術大学や国際教養大学などの7つの大学もあり、全国に誇れる教育環境を有しています。

秋田市の教育

創造力と協調性を育むサンドアート・スイカ割り[秋田市立浜田小学校の取り組み]



AKITANOSU

秋田市の子育てや教育について



秋田っ子・あい調査

秋田市の児童生徒の学習や生活等に関する意識や実態を把握し、郷土への誇りと愛着を持ち、多様化・複雑化する社会を力強く歩む子どもをはぐくむ教育を充実させるための市独自の調査。

外国語指導助手(ALT)活用事業

児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、全小・中・高等学校等にALTを派遣。

特別支援教育の推進

子ども一人ひとりの状況に応じた支援の充実を図るため、学級生活支援サポーターや学校行事等支援サポーター、日本語指導支援サポーターを派遣。

児童館・児童センター・児童室・放課後児童クラブ(学童クラブ)

秋田市には各小学校に隣接または近隣に児童館・児童センター・児童室があり、無料で放課後や土曜日など自由に来館し、勉強や遊ぶことができます。その他、秋田市内には有料の放課後児童クラブもあります。

公立美術大学や国際教養大学など 7つの大学



国際教養大学



秋田公立美術大学

- 秋田看護福祉大学
- 秋田県立大学
- 秋田公立美術大学
- 秋田大学
- 国際教養大学
- 日本赤十字秋田看護大学
- ノースアジア大学



秋田市で見つける、新しい活躍のカタチ。

秋田県は人口減少が日本一加速する地域。

その県庁所在地である秋田市だからこそできるチャレンジがある。

これまでの
取組を紹介。

秋田市未来創造人材育成・プロモーション事業



MIRRORLIAR FILMS AKITA

映画製作を通じたクリエイター発掘・育成を目的としたプロジェクト「MIRRORLIAR FILMS」と連携した取組。著名クリエイターとともに市内大学生が短編映画制作に挑戦し、地方でもクリエイティブな挑戦ができることを全国に発信。



ドキュメンタリー動画▲

秋田市高校生CM塾

将来や進路について選択していく高校生世代が、一流クリエイターとともに、地域資源に磨きを掛けながらCM制作を行いました。企画、撮影、編集も全て高校生。



ショートバージョン▲



秋田アカデミー (秋田留学)

県内外の高校生、大学生が本市で活躍する人材と交流し、本市への愛着醸成やキャリア形成のきっかけを提供するため、合宿形式のプログラムを開催。





秋田市公式Instagram写真展



JR秋田駅、秋田空港のほか市内の商業施設や高等学校で、秋田市公式Instagram写真展の投稿写真の中から、本市の魅力を取り切った写真を選出し、パネル展示。

シティプロモーションムービー 「久しぶりに、帰ることにした。」

米アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア2024」BRANDED SHORT2024部門「第13階観光映像大賞」ファイナリストに選出されました。



「二十歳が輝く1日応援」プロジェクト



このまちに生まれ、このまちに育った「二十歳を迎えた仲間たち」が晴れ着で自分らしくラソウェイを歩く“二十歳が輝く1日応援”プロジェクト。



ダイジェスト動画▲

オンとオフ。どちらも 妥協しない、欲張りに生きる

秋田市は、首都圏へのアクセスの良さからリモートワーク移住者も増え、リモートワークができる施設も充実しています。秋田市にあるシェアオフィスとコワーキングスペースをご紹介します。全ての施設でWi-Fiが無料で利用できます。



チャレンジオフィスあきた

チャレンジオフィスあきたは、起業家交流室、コワーキングスペース、創業支援室、会議室、面談室を備えた施設。インキュベーションマネージャーが常駐し起業の支援も。入居には審査があります。

●秋田市中通二丁目2番32号
山二ビル7階
☎018-827-5868



利用者の声

●秋田駅前で起業イベントや気軽な相談ができる貴重な場所。Wi-Fiや電源など設備が充実しており、打合せだけでなくイベント開催時も非常に使いやすくて便利です。学生起業支援の催しも多いので、今後も情報収集や挑戦の拠点として積極的に活用したいです。
(男性・20代)

●駅前からのアクセスが良く、出先からでも立ち寄って集中して仕事ができます。インキュベーションマネー

ジャーへの進捗共有や、先輩起業家との交流を通じて、事業へのモチベーションを高めています。

(女性・30代)

●以前、チャレンジオフィスあきたで開催されたイベントに参加したことがあり、秋田駅前での起業に関する打合せのときには無料で起業家交流室が利用できることを知っていました。ビルの7階にあるので知る人ぞ知るスポットになっているようですが、フリーWi-Fiも利用できるのでオススメです。

(男性・30代)

Atelier AL☆VE

秋田駅直結徒歩3分。秋田市中心部に位置し、県内外からのアクセスが容易なリモートオフィス。通信環境は超高速大容量かつ高セキュリティのローカル5Gを完備。

📍秋田市東通仲町4-1
秋田拠点センターアルヴェ2階
アルヴェシアター併設
☎018-837-7488



秋田市サテライトオフィス一覧

シェアオフィス mag

📍コワーキングスペース

チャレンジオフィスあきた

📍コワーキングスペース

リージャス秋田駅前ビジネスセンター

📍コワーキングスペース

ヤマキウ南倉庫

📍コワーキングスペース

GALLERIA大町

📍シェアオフィス

Atelier AL☆VE

📍コワーキングスペース

Atelier ALVE II

📍レンタルオフィス

Atle DELTA

📍コワーキングスペース

ACTIVE!スペース

📍コワーキングスペース

テレワークによる移住を 全カサポート!

テレワークを利用する移住者と企業に対して、さまざまな支援を実施しております。是非チェックしてご活用ください。

※令和8年度時点

1. 支援メニュー・交付額・補助率

(1) 社員等の移住に対する支援	● リモートワーク支援金 移住後3年間で最大220万円 (補助率1/2、一部1/4)
(2) 企業等の取組に対する支援	● リモートワーク移住体験支援金 最大60万円(補助率2/3)

2. 主な要件

(1) リモートワーク支援金	リモートワーク移住を行う社員等が、移住前から従事している県外事業所等に関する業務を、移住後もリモートワークで継続していること。
(2) リモートワーク移住体験支援金	リモートワーク移住の試行を実施する企業等が、パートナー企業(県との連携を図り、社員等のリモートワーク移住に関する社内検討や試行的な取組を推進する企業として一定の条件を満たす、県外に本店を置く法人企業等)として認定を受けていること。 ※パートナー企業認定申請の新規受付は令和8年3月31日で終了しました。

3. 対象経費



詳しくは、こちらから

4. 申請時期

(1) リモートワーク支援金	リモートワーク移住による県内市町村への住民登録後、対象年度の翌年1月末日までに申請ください。 ※移住前に「A-KITA登録」が必要です。 ※移住前に支払い・決済をした経費は補助対象外です(初年度の住宅賃貸契約諸費、家賃を除く)。 ※2年度目・3年度目の方でも改めて全ての申請書類の提出が必要です。
(2) リモートワーク移住体験支援金	申請書は原則として、秋田県への訪問日の10営業日(土日祝日を除いて10日)前までに県へ到達する必要があります。 ※交付決定前に支払い・決済をした経費は補助対象外です。 ※(1)(2)ともに予算額に達しましたら、年度途中で事業を終了します。

5. 申請手続き・提出書類等

申請手続き・提出書類等については、こちら(“秋田暮らし”はじめの一歩)からご覧ください。

これらの支援を受けるためには、移住前に手続きが必要です。お気軽にお問い合わせください。

秋田県人口戦略部 移住・定住促進課
☎018-860-1234 ✉ iju@pref.akita.lg.jp

Remotework
in Akita
リモートワークで秋田暮らし



東京圏から秋田市に移住し、リモートワークで移住元の業務を引き続き行う向けの補助金については、東京圏移住支援補助金参照 P32



まずは「ざっくり」秋田市をご紹介!



AKITANOSU
(アキタノス)の
秋田市公式note

7のエリア、
それぞれの「顔」を
のぞいてみよう。

中央地域	秋田駅西口にはデパート等の商業施設、秋田県内一の歓楽街「川反通り」(飲食店が集まる)があり、官公庁が集まる中心地域。
東部地域	広面や桜地区など、秋田駅の東側に広がる住宅地。秋田大学やノースアジア大学など複数の大学がある「学園エリア」としての一面もあるほか、田園地帯や森林環境も広がっており、山間部には太平洋リゾート公園など、豊かな自然環境にも恵まれた地域。
西部地域	新屋、浜田地区など、雄物川河口付近や日本海に面したエリア。新屋ガラス工房や秋田公立美術大学等がある芸術の街。
南部地域	牛島、仁井田、四ツ小屋地区など、国道13号沿いに住宅や産業施設が広がる地域。
北部地域	大型定期フェリーが就航する秋田港や秋田市のシンボリックな施設「ポートタワーセリオン」がある地域。土崎港、飯島、将軍野地区など、港湾や古くからの市街地を持つ地域。
河辺地域	岩見三内など、市東部の山間・農業地域。
雄和地域	秋田空港や国際教養大学があり、雄物川沿いの自然豊かな地域。

迫力満点の 秋田を代表する祭り



中央地域
8/3~6

秋田竿燈まつり

秋田の夏の風物詩。厄よけ、五穀豊穰などを願う行事として長い歴史があります。約280本もの竿燈の明かりが会場の大通りを埋め尽くし、まるで黄金の稲穂のように夜空を揺らします。



北部地域
7/20~21 土崎港曳山まつり

港ばやしが響く中、武者人形が飾られた曳山を町内ごとに曳いて練り歩き、2日間を通してにぎやかに活気づき、2日目の“戻り曳山”でクライマックスをむかえます。



すばらしい音響の会場で
コンサートやライブを開催!

あきた芸術劇場 ミルハス

新たな秋田の文化芸術の創造拠点として2022年に開館。高い音響性能を持つ大ホール、充実した舞台設備を持つ中ホール、練習室、研修室、創作室等を備えた劇場です。

秋田市千秋明徳町2-52 ☎018-838-5822



マルシェやワークショップ
を開催!

文化創造館

新しい活動を生み出す拠点として、多様な文化活動との出会いの場を提供しています。館内各施設の貸出も可能(有料)。

秋田市千秋明徳町3-16 ☎018-893-5656



まずは「ざっくり」秋田市をご紹介!

西部地域

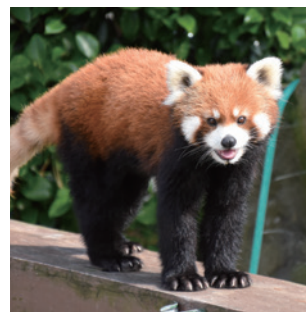


大森山動物園

～あきぎん オモリンの森～

動物の食事風景を間近で見られる「まんまタイム」や、小動物とふれあえる「なかよしタイム」など楽しいイベントいっぱい。園内には動物園の動物と一緒に遊ぶ空中観察遊具「アソヴェの森」や遊園地もあります。

📍 秋田市浜田字潟端154 ☎ 018-828-5508



秋田県で一、二を争う
人気の海水浴場

桂浜・下浜海水浴場

波が穏やかなこともあり、夏になると県外からも海水浴客が訪れ、多くの人で賑わいます。

北部地域

道の駅あきた港

ポートタワー・セリオン

全長143mのポートタワー。地上100mの高さから360度のパノラマが望めます。

「道の駅 あきた港」内の施設では、イベントやマルシェが開催されます。

📍 秋田市土崎港西1丁目9-1
☎ 018-857-3381



土崎みなと歴史伝承館

ユネスコ無形文化遺産の「土崎神明社祭曳山」実物展示や、土崎空襲で被爆した倉庫など、土崎の歴史を体感できます。

📍 秋田市土崎港西3丁目10-27
☎ 018-838-4244

東部地域

太平山リゾート公園 オートキャンプ場

秋田の四季を満喫できるキャンプ場。施設も充実しているため、手軽にキャンプを楽しめます。



秋田市仁別字小水沢134 ☎018-827-2270

太平山スキー場 オーパス

ファミリー向けスキー場。21時までナイター営業をしているため、仕事帰りに楽しむ人も。



秋田市仁別字蛇馬目沢111 ☎018-827-2221

子どもたちと一緒に遊べる公園



中央地域

千秋公園

秋田市千秋公園地内

八橋運動公園

秋田市八橋運動公園1-10

水遊びができる噴水が子どもたちに大人気!

北部地域

小泉潟公園

秋田市金足鳩崎字後谷地21

噴水の稼働状況は下記サイトをご確認ください。



秋田県立小泉潟公園 @koizumigatapark



東部地域

一つ森公園

秋田市檜山字石塚谷地地内

南部地域

御所野総合公園

秋田市御所野地藏田3丁目地内



西部地域

大森山公園

秋田市浜田字大森山29-1

移住専用ポータルサイト「AKITANOSU」
「子どもの遊び場」



移住相談ツアー

オーダーメイドツアーで 市内をご案内

ツアー参加に必要な宿泊費・交通費を
助成します!



参加者の 声

最高5万円
を助成!

Aさん 子育て世帯(40代)

実際に子どもが通学する様子をリアルに感じることができ、インターネットだけではわからない貴重なお話を伺うことができました。

Bさん 夫婦世帯(50代)

詳しい説明や休憩場所の柔軟な対応など、楽しく密度の濃いツアーでよかったです。

Cさん 子育て世帯(40代)

オーダーメイドで自分たちの知りたい情報が得られました。初めから相談していた方が一緒に安心して参加できました。



対象者

- ・秋田県外在住で、秋田県の「A→^{あきた}KITA登録」をしている方
- ・概ね3年以内に移住を検討している方
- ・秋田市の移住促進に協力・同意する方

日程・コース

1泊2日・ご希望に沿ったコースをご提案します

助成金(上限)

宿泊費・交通費の実費 **5万円/世帯**(2万円/人)

申込方法

ツアー実施希望日の30日前までに申請してください。

お問合せ・お申込はこちらから

問い合わせ 秋田市移住相談八重洲センター ☎ 0120-99-1101



移住体験住宅

秋田市暮らしをお試し体験

移住体験住宅利用の宿泊費・交通費を
助成します!



利用者 の声

宿泊料・ 交通費 助成!

Aさん(市内中心部アパートタイプ)

綺麗にリフォームされていて快適に利用できました。
目的だった寒い時期の秋田市を体感できました。

Bさん(市内中心部戸建タイプ)

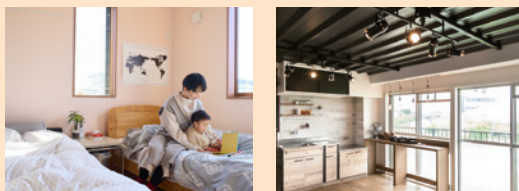
温泉街にある旅館や、駅前にあるビジネスホテルとは
違い、住宅地にある一般的な住宅をお借りでき、より
住んだときのイメージが湧きました。

Cさん(郊外戸建タイプ)

居心地が良かったです。秋田市内の様々な場所を訪
れ地元の人々と交流ができて目的を達成することが
できました。



※写真/民泊 GOEMON-INN



対象者	・秋田県外在住で、秋田県の「A→ ^あ KITA ^き 登録」をしている方 ・概ね3年以内に移住を検討している方 ・秋田市の移住促進に協力・同意する方
日程・施設	最大6泊7日・対象の移住体験住宅(民泊施設)
助成金(上限)	宿泊費 5千円/世帯員・泊 (上限10万円/世帯) 交通費 2万円/世帯員 (上限5万円/世帯)
申込方法	対象の民泊施設を予約の上、利用開始の14日前までに申請してください。

お問合せ・お申込はこちら



問い合わせ 秋田市移住相談八重洲センター ☎0120-99-1101



移住に関する支援

仕事に関する支援事業

UIターンの 就職支援の 流れ

1. 利用者登録
2. 就職相談
3. 応募資料作成支援
4. 面接対策支援
5. 内定・居住地決定

まずは、秋田市移住相談センターに「移住相談登録・求職申込」をしましょう。「移住相談登録・求職申込」は郵送・窓口・メールでも受付可能です。



仕事を 探したい

◆お仕事を紹介します

無料職業紹介所である「秋田市移住相談八重洲センター」では、求人紹介や紹介状の発行を行っています。エントリーシートなどの書き方や模擬面接などのサポートも可。詳しくはHPをご覧ください。

登録・利用は
もちろん無料



◆企業採用面接交通費等を 助成します！



◆東京圏の大学等から県内企業へ 就職した方の交通費を助成しま す！



住まいに関する支援事業

暮らしの拠点となる家探し

「住まい」といっても、市内中心街に近く融雪設備が整っているマンション、郊外の広々とした一戸建て、エリアも物件もさまざま。秋田市でどのような暮らしをしたいのかをイメージしながら、住まいを探しましょう。秋田市では、住宅リフォームなどへの補助金があるほか、「空き家バンク」では売買・賃貸物件の情報も提供しています。



住まいに関するサポート

◆秋田市空き家バンク制度

秋田市内の賃貸・売却を希望する空き家情報を、利用希望者へ紹介するサービス。秋田市暮らしを考えている人は、ご相談を。

問い合わせ：都市整備部住宅政策課 ☎018-888-5770



◆秋田市住宅情報ネットワークサイト

秋田市内の不動産物件紹介のポータルサイトです。空き家バンクや不動産関係団体の不動産紹介サイトから物件を検索できるほか、補助金や移住定住の取組なども、紹介しております。



◆秋田市移住者・子育て世帯定住推進事業

県外から移住する方等が親等の直系親族と新たに同居するために必要な住宅の改修等にかかる費用に対し補助します。

問い合わせ：都市整備部住宅政策課 ☎018-888-5770



◆秋田市空き家定住推進事業

市外から移住する方等が、空き家バンクなどを利用して定住するための住環境整備にかかる費用に対し補助します。

問い合わせ：都市整備部住宅政策課 ☎018-888-5770





移住の補助金

支援金・助成金をもらうには
まずは「**A→KITA登録**」を！



事業補助金 2.3. 重要ポイント

移住前に申請

県外から移住し、
仕事を新たに始める方

申請は秋田市への転入日以前に行う必要があります。
制度の詳細はQRコードを参照してください。

1. 東京圏移住支援事業補助金

◆ 社会人等向け支援事業

東京圏から移住する方の引越等に要する経費を補助します。

対象世帯	単身世帯	60万円	対象経費	使途不問
	2人以上の世帯	100万円		
	子育て世帯加算(18歳未満が対象)	対象人数分加算あり		

◆ 大学卒業生等向け支援事業

東京圏から秋田市へ移住する、一定の要件を満たす大学卒業者および大学院修了者の引越費用を補助します。

対象者	東京都内に本部がある大学等を卒業・終了してから1年以内に、秋田県内の企業に就業している方	上限10万8千円	対象経費	引越費用
-----	--	----------	------	------

2. 子育て世帯移住促進事業補助金

子育て世帯の住宅の新築・購入、賃借、転居の費用を補助します。

対象経費	ア 住宅の取得費用 イ 住宅の賃貸借費用※1 ウ 転居費用※2	補助額	30万円に同居する18歳未満の子1人につき、10万円を加算した額が上限
------	---------------------------------------	-----	-------------------------------------

※1 礼金、保証料、仲介手数料、2か月分未満の家賃

※2 家財道具等の購入費、処分費を除く

3. 若者移住促進事業補助金

若者(40歳未満)の住宅の新築・購入、賃借、転居の費用を補助します。

対象経費	ア 住宅の取得費用 イ 住宅の賃貸借費用※1 ウ 転居費用※2	補助額	1人当たり上限15万円 複数人世帯は上限30万円
------	---------------------------------------	-----	-----------------------------

※1 礼金、保証料、仲介手数料、2か月分未満の家賃

※2 家財道具等の購入費、処分費を除く



移住者交流会

秋田市でつながる、新しい出会い!

地域おこし協力隊が移住者の情報交換&お友だち作りをサポートする交流会を開催しています。



アンケート
結果
田植え
体験

今回の交流会には、30代~40代の「子育て世帯」や「夫婦世帯」を中心に多くの方にご参加いただき、アンケートでは全員から「満足」との回答をいただきました。

■ 参加してよかったこと

「米どころ秋田ならではの体験ができ、知人にも紹介したい」「農作業を通じて自然な会話が生まれ、程よい距離感で交流できた」と、秋田らしい体験とコミュニティ形成の両面で高い評価を得ています。また、スタッフのサポート体制が充実しており、小さなお子様連れでも安心して楽しめた点や、新米のきりたんぼを通じて地域の魅力を再発見できたという声も目立ちました。

■ 秋田市をお勧めする理由と、リアルな意見

移住先としてお勧めする理由には、「食の豊かさ」「人の温かさ」「伸び伸びと子育てができる環境」が挙げられました。一方で、リアルな生活実感として「関東・関西と比較して冬の寒さや光熱費などの出費が重なる」「天候の厳しさを辛く感じることもある」といった、雪国ならではの課題を指摘する声も寄せられています。

今後は地元住民との交流機会を望む声も多く、地域一体となった定住支援が期待されています。



アンケート
結果
**稲刈り
体験**

30代～40代の子育て世帯や単身の方など、多様な層の皆様にご参加いただきました。

■ 参加してよかったこと

「初めての稲刈りを子供に体験させられた」「留学生も加わり活気があった」と、秋田ならではの体験に多くの満足の声寄せられました。「事前の自己紹介が会話のきっかけになった」という意見の一方で、交流面では「鎌を使う作業中は子供から目が離せず、参加者同士の交流が難しかった」「有料でもお昼ご飯がセットなら、もっと親交が深まった」といった運営への率直な要望も届いています。

■ 秋田市をお勧めする理由とリアルな声

「自然豊かで食べ物が美味しく、治安も良い」と子育て環境への高評価がある反面、厳しい指摘も目立ちました。「都会の文化を求める人には物足りない」「仕事の少なさや交通アクセスの悪さ、冬の雪かきや熊の出没が不安」といった声や、他県と比較して補助金の魅力が薄いという意見もあります。

秋田の良さを実感しつつも、生活上の課題が浮き彫りになる貴重な回答結果となりました。



アンケート
結果
収穫祭

30代～40代の子育て世帯が中心となり、収穫の喜びを分かち合いました。

■ 参加してよかったこと

「杵と臼での餅つきは家族全員が喜ぶ貴重な体験」「つきたてのお餅が美味しかった」と、地域の温かい協力を感謝する声が多届けました。一方で交流については「移住者同士の会話の時間をさらに増やしてほしい」「地元の方にやってもらってばかりで申し訳ない。自分たちも協力したかった」という、より深い関わりを望む要望も上がっています。

■ 秋田市をお勧めする理由とリアルな声

「市内は商業施設や飲食店が充実し、都心へのアクセスも良く住みやすい」「子育ての場が多く安心」といった満足の声がある一方、リアルな懸念も寄せられました。「人口減少や熊の問題があり手放しでは勧められない」「仕事がない」「九州方面への飛行機がなく帰省しづらい」など、移住者が直面する率直な課題も示されており、良い点・悪い点の双方を理解して検討することの重要性が伺えます。



安心!医療施設

市立秋田総合病院

📍 秋田市川元松丘町4-30
☎ 018-823-4171

中通総合病院

📍 秋田市南通みその町3-150
☎ 018-833-1122

秋田厚生医療センター

📍 秋田市飯島西袋1-1-1
☎ 018-880-3000

秋田赤十字病院

📍 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1
☎ 018-829-5000

秋田県立循環器・脳脊髄センター

📍 秋田市千秋久保田町6-10
☎ 018-833-0115

秋田大学医学部附属病院

📍 秋田市広面字蓮沼44-2
☎ 018-834-1111

秋田の交通系ICカードといえば 地域連携ICカードAkiCA

アキカ

秋田中央交通株式会社が発行する「AkiCA(アキカ)」およびJR東日本が発行するSuica(モバイルSuica含む)のほか、全国相互利用可能な交通系ICカードによる運賃の支払いが可能です。



シニアアキカ

満65歳以上の高齢者が、市内の路線バス等を1乗車につき150円で利用できる「高齢者コインバス事業」



中心市街地は
循環バス「ぐるる」が便利!



都市整備部交通政策課
☎ 018-888-5766

秋田市移住相談 八重洲センター※

◆東京都中央区京橋一丁目4-14
TOKIビル6F
(東京駅八重洲南口改札より徒歩4分)
●相談時間 9:00~17:00(月~金)
※土曜日は要相談

☎0120-99-1101

秋田市移住相談センター※

◆東京都千代田区平河町2-4-1
日本都市センター会館11階
秋田市東京事務所内
FAX.03-3234-6873
●相談時間 9:00~17:00
☎土曜・日曜・祝日・年末年始

☎03-3234-6871

✉ro-pltk@city.akita.lg.jp

秋田市企画政策部 選ばれるまち戦略課

◆秋田市山王 1-1-1 秋田市役所 4階
FAX.018-888-5488

●相談時間 8:30~17:15
☎土曜・日曜・祝日・年末年始

☎018-888-5487

✉ro-plpo@city.akita.lg.jp

※2026年度中に、秋田市移住相談センターと秋田市移住相談八重洲センターは統合し、所在地が変更となる予定です。

＼地域おこし協力隊が送る秋田市暮らし情報／



Facebook

@akitacity
okoshi



Instagram

@akitacity_
kyoryokutai



Twitter

@akitacity
okoshi



LINE

@akitacity
110



AKITANOSU
秋田市移住
ポータルサイト